

## 宮古発

### 体験教室復活



今年7月に営業を再開した宮古市の道の駅「シートピアなあと」で観光客みずからが地元特産の食品などの「手づくり」に挑戦する体験教室が復活しました。この教室は震災前から、恒例のイベントとして人気を集めており19日は震災後、初開催。記念すべき初回を飾ったのはおなじみ「いかせんべい」。宮古の菓子メーカーすがたの菅田正義社長が田野畑村などから訪れた観光客に、作り方の指導に当たりました。「なあと」での体験教室は今後月一回のペースで開かれる予定だという事です。(9/19 ニュースエコー)

## 釜石発

### 仮設住宅にチャグチャグ馬コ

釜石市の仮設団地に、2頭のチャグチャグ馬コが登場しました。団地に併設する商店街が滝沢村商工会青年部などの協力を得て実現したものです。団地の広場では馬コが華やかな衣装に着飾る様子も披露されました。仮設住宅の人たちは馬コと触れ合い、広場には鈴の音が響いていました。(9/21 ニュース)



## 釜石発

### 釜石まるごと味覚フェスティバル

地域の食の魅力を発信する「釜石まるごと味覚フェスティバル」が震災後、3年ぶりに復活し、郷土芸能、虎舞がスタートに華を添え、大勢の家族連れでにぎわいました。魚市場近くの特設会場には浜の男たちが販売するホタテの店や釜石産ワカメなど地元



元の食材を扱う店が軒を連ねました。20日に釜石港に初水揚げされたサンマの炭火焼や一晚タレに漬け込んだ「釜石カルビ」のお振る舞いは祭り開始直後から行列ができる盛況ぶり。訪れた人たちは地域自慢の味を堪能していました。(9/22 ニュース)

## 感謝の気持ちと復興への願い

### 福田こうへい三陸ツアー



盛岡市在住の演歌歌手福田こうへいさんが、久慈市を皮切りに沿岸5カ所をまわる復興支援三陸ツアーがスタートしました。9月25日、最初の会場となった久慈市の「道の駅くじ」には地元はもちろん、県内外から、600人余りが詰め掛けました。福田さんは震災直後の2011年4月上旬から民謡仲間4人と共に避難所や仮設住宅など30ヶ所以上をまわり、民謡を届けるボランティア活動を行いました。被災地では励ますつもりが逆に元気をもらったという福田さん。今回のツアーは感謝の気持ちと復興への願いを込めて福田さんが熱望し、実現したものです。ヒット曲「南部蝉しぐれ」など、集まった人たちは民謡で鍛えた確かな歌唱力と味わい深い福田さんの歌声に聞き入っていました。この復興支援三陸ツアー、26日は宮古市と釜石市で、27日は大船渡市三陸町で行われます。(9/25 ニュースエコー)

## 宮古発

### さんりく元気ラジオ!

今週はみやこハーバーラジオの木村彩子さんが、10月5日、6日に宮古市民総合体育館で開かれる「第19回宮古市産業まつり」について伝えてくれました。これは毎年市民の皆さんが楽しみしているお祭りで、地場産品・特産品の販売、地元の太鼓演奏や子供たちのダンスショーなどもあります。今年が目玉は第2回Sea級グルメコンテストだという事です。宮古の美味しいものやものづくりなど、宮古の元気をつまんだ「復興加速念・第19回宮古市産業まつり」、ぜひ多くの人に来て頂きたいと話していました。(9/25) (写真は今年の産業まつりの様子)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122